

## 参考 資料編

## 1 上位計画・関連計画等

【表 1：上位計画・関連計画等への位置づけ】

計画 (策定(公表)年月)	位置づけ
大田区基本構想（平成20年10月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽田空港周辺については、個性と魅力にあふれたにぎわいあるまちづくりを進める。（P7）</li> <li>● 空港用地外となる跡地については、区民の意向を踏まえ、地域と空港とが共生できる視点からの有効利用を推進する。（P7）</li> <li>● 空港機能を十分に活用した新しい産業との連携を進め、おおたブランドの発信拠点としての展開を進める。（P7）</li> <li>● 臨海部、多摩川・呑川などの水辺空間の利活用を促進し、区民や訪れる人々が憩い楽しめる空間の整備を図る。（P7）</li> </ul>
大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年（後期）」（平成26年3月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多摩川と空港臨海部の特徴を活かしながら、みどりの拠点やレクリエーション拠点を整備し、水辺の自然と共生した魅力ある景観とにぎわいを創出する。（P123）</li> <li>● 区民や国内外からの来訪者が憩い、交流する魅力ある快適な空間を形成する。（P136）</li> <li>● 多目的広場の整備を推進し、潤いとやすらぎの親水緑地空間を創出する。（P136）</li> <li>● 地域の防災機能の強化に資する空間としての整備を進める。（P136）</li> </ul>
新おおた重点プログラム（令和4年3月更新）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港を活かした世界につながる産業の集積拠点や、世界中の人々が集い、誰もが親しめる空間を形成する。（P156）</li> <li>● 親水緑地と連続性を持たせた都市計画公園を整備することで、多様な人々が楽しめる空間創出を図る。（P158）</li> </ul>

計画 (策定(公表)年月)	位置づけ
羽田空港跡地まちづくり推進計画(平成22年10月:羽田空港移転問題協議会(国土交通省、東京都、大田区、品川区))	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海老取川及び多摩川に沿った親水ネットワークと連続性を持たせ、周辺市街地に不足する緑地やオープンスペースを確保する。(P7)</li> <li>● 地域住民の健康増進やレクリエーション、イベントのほか、産業交流施設との一体的な利用など、多目的な利用に供する場とする。(P7)</li> <li>● 災害時には広域避難場所の一部としてその機能確保に必要な平面空間を備える。(P7)</li> </ul>
羽田空港跡地第1ゾーン整備方針(平成27年7月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先端産業分野の企業を誘致し、区内中小企業やベンチャー、大手企業、関係機関等の多様な主体が集う場を設け、コラボレーションを促すことでイノベーションの創出を図る。(P8)</li> <li>● 現代美術の振興・産業化を進め「文化・アート産業」の国内外に向けた新たな拠点を目指す。(P10)</li> <li>● 日本の選りすぐりの物産や食材、製品を集め、販売するとともに、「食」や「技」などの魅力を伝える日本文化のショールームを形成する。(P11)</li> <li>● 羽田の歴史を伝承する。(P12)</li> <li>● 多目的広場は羽田のまつりや地域のイベント、各プロジェクトを展開する場として、跡地全体の「憩い」、「にぎわい」づくりの中核的な役割を担う。災害時には、避難場所としての機能も果たす。(P13)</li> </ul>
羽田空港跡地かわまちづくり計画(平成29年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水辺の環境整備や舟運によるネットワーク構築や水辺での新しいレジャーイベント開催などの取組みを推進する。</li> <li>● 羽田空港跡地まちづくりとも連携した水辺の利用・交流促進を目指す。</li> </ul>

計画 (策定(公表)年月)	位置づけ
大田区都市計画マスタープラン(令和4年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内企業の海外への発信機能やビジネス展開につながる交流機能とともに、様々な活動主体が文化的な交流の場としても活用できる、多用途な機能を発揮する交流拠点を形成する。(P178)</li> <li>● HANEDA GLOBAL WINGS では、地域の憩いとにぎわいづくりの中核的な役割を担うとともに、災害時の避難場所としての機能を有する公園整備を進める。(P180)</li> </ul>
大田区景観計画(平成25年10月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多摩川や海老取川の水辺に囲まれ、空港と隣接する立地を活かした国際的な交流の拠点として、先進的で魅力とにぎわいのある景観形成を図る。(P23)</li> <li>● 飛行機や船舶、モノレール、高架道路や橋梁などからの見え方を意識し、空と海の玄関口としてふさわしい景観づくりを進める。(P109)</li> <li>● 空港臨海部の大規模な公園を拠点として、緑の連続性や水辺の散策路を活かし、海や運河などの水域と陸域が一体となった景観づくりを進める。(P109)</li> </ul>
大田区緑の基本計画(グリーンプランおた)(平成28年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来訪者への観光やおもてなしの視点でのみどりの拠点整備やネットワークを作る。(P19)</li> <li>● 羽田空港跡地周辺や内陸部での災害時の避難場所(広域避難場所)ともなる公園・緑地を確保する。(P20)</li> <li>● 多くの外国人が訪れる日本の玄関口としての第一印象を高める景観を形成する。(P21)</li> <li>● 水辺環境や街路樹、緑道などのつながりや広がり確保し、生物の多様性を育む豊かな暮らしを支えるみどりのネットワークを作る。(P40)</li> <li>● 河川敷緑地、大規模公園や臨海部の魅力ある賑わいを生むスポーツ・レクリエーション施設を整備・充実させる。(P41)</li> <li>● 羽田空港跡地や臨海部での賑わいを生み、まちの魅力を高めるみどりの拠点を作る。(P43)</li> </ul>

計画 (策定(公表)年月)	位置づけ
拠点公園の魅力向上に向けた運営方針 (令和2年8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定量的、定性的効果の検証として、整備・改修及び維持管理・運営の一元化の検討に当たり、公民連携手法の導入可能性も含め、定量・定性の両面からその効果の検証を行い、具体化方策を検討する。(P8)</li> <li>● 公民連携への柔軟な取組みとして、指定管理者制度等、多様な公民連携手法の活用による維持管理・運営の一元化とそれによる効率化の可能性を検討する。(P8)</li> </ul>
空港臨海部グランドビジョン 2040 (令和4年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間などのオープンスペースを活かし、区民・働く人には憩いの場として、来街者には多様なアクティビティを体験できる賑わいのある空間を創出する。(P48)</li> <li>● 災害時における復旧・復興の拠点を担う。(P49)</li> </ul>
羽田の防災まちづくりの整備計画 (令和元年5月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽田地区(羽田1～6丁目)もまた、木造住宅密集地域として大地震が発生した際の延焼火災による被害が大変危惧されている地域である。</li> <li>● 羽田地区の被害を縮小するために必要な最も効果的な計画である。</li> <li>● バス通りは、(広域)避難場所である東京国際空港及び菟中公園等へ避難する際の重要な道路として、沿道の建替えを促進し、災害時にも安全な通行ができる空間を確保する。</li> <li>● 羽田の良さである地域の結束力を残し、地域コミュニティを壊さずに、着実に進める。</li> </ul>

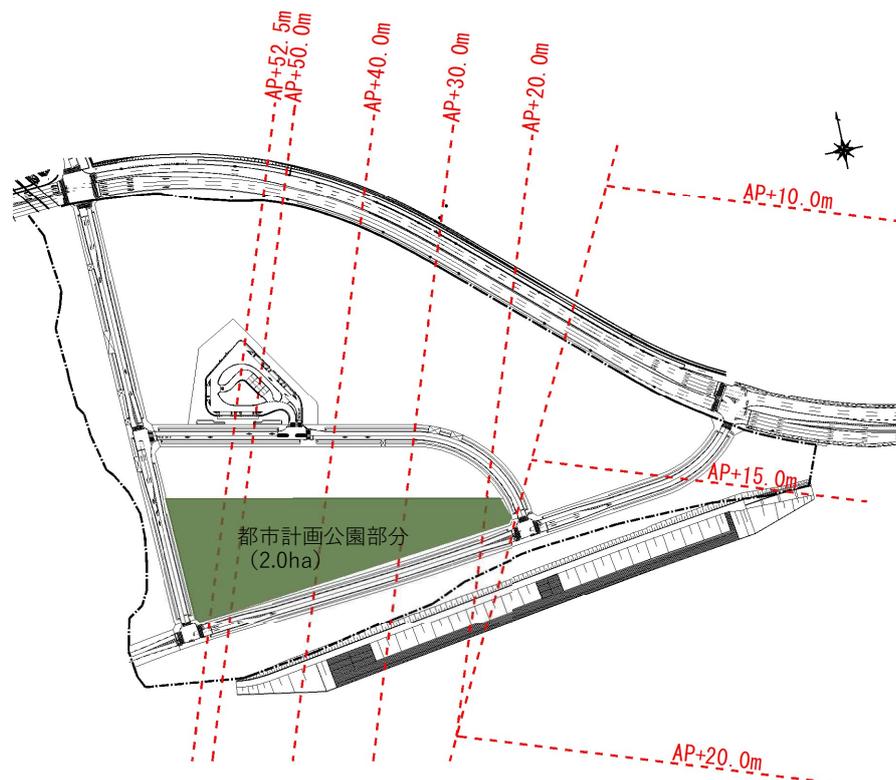
## 2 対象区域の主な法的制限

対象区域の主な法的制限は以下のとおりです。なお、取組み内容によっては航空法、景観法、その他法令による制限を受ける場合があります。

【表 2：対象区域の主な法的制限】

敷地面積	約20,000㎡	
地域地区	用途地域	準工業地域（容積率：200％、建蔽率：60％）
	高度地区	なし
	防火指定	準防火地域
	日影規制	なし
その他	用途地域による 高さ制限	・道路斜線制限：勾配1.5、適用距離：20m ・隣地斜線制限：勾配2.5、立ち上がり：30m
	航空法による 高さ制限	・水平表面：AP+52.5m、転移表面勾配1/7 ・滑走路地盤高さ：AP+6.9m
	景観法 (大田区景観条例)	・産業促進市街地 ・空港臨海部景観形成重点地区
	河川法	多摩川・海老取川護岸側の一部地区が河川保全区域に指定

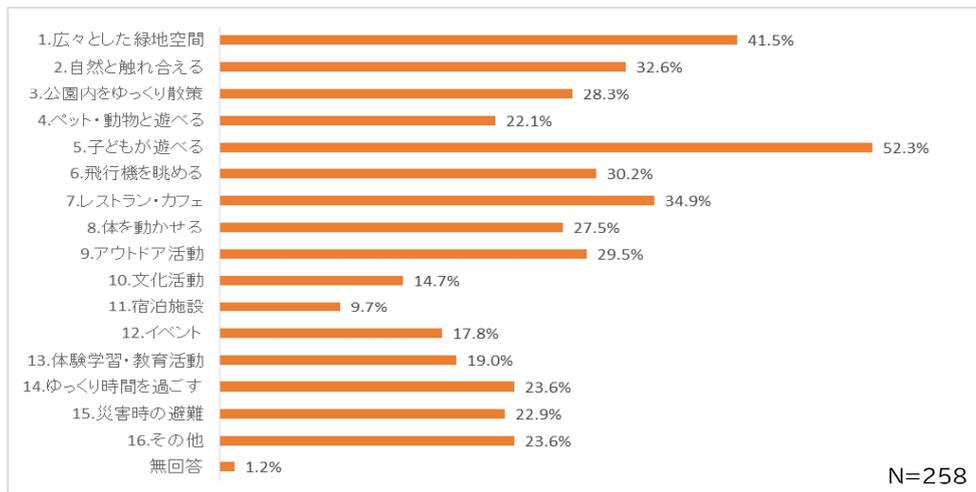
【図 10：航空法による高さ制限】



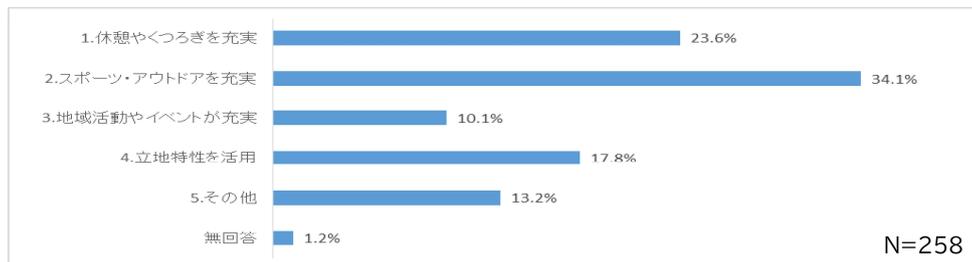
### 3 アイデア募集、意見交換会・成果発表会

#### (1) アイデア募集での主なアイデア（HP 掲載資料）

【設問Ⅰ】この公園でやってみたいこと、あったらよいもの（16の選択肢から5つまで選択）



【設問Ⅱ-1】この公園の特徴としてよいと思うもの（5つの選択肢から1つ選択）



【設問Ⅱ-2】おすすめの公園（自由意見、主な公園を抜粋）

23区	件数	23区外	件数
萩中公園	10	昭和記念公園	14
砧公園	10	長井海の手公園（ソレイユの丘）	5
大森ふるさとの浜辺公園	9	モエレ沼公園	4
代々木公園	8	ふなばしアンデルセン公園	3
駒沢オリンピック公園	8	大師公園	3

【設問Ⅲ】公園に関する自由意見

- ・ 休憩やくつろぐことに関するご意見：52件
  - ・ スポーツやアウトドア活動に関するご意見：155件
  - ・ 地域活動やイベント活動に関するご意見：33件
  - ・ 羽田空港、多摩川、産業施設に近接する立地特性に関するご意見：68件
  - ・ 上記以外：140件
- （計：448件）

## (2) 意見交換会・成果発表会（ニュースレター）



# 意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年6月12日



大田区は、羽田空港跡地のまちづくりの一環として羽田空港・多摩川のそばに新しく整備する公園について、ご利用になる皆さまからご意見をいただいております。みんなが使いたくなる公園にするためにはどうしたらよいかを、公募によりお集まりいただいた皆さんが意見を出し合う、意見交換会の第1回目を開催しました。

### 意見交換会のねらい



令和3年5月22日(土)  
9時30分～12時30分  
どんな利用者が  
いるだろう？

第1回では、公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像します。



令和3年6月12日(土)  
9時30分～12時30分  
ストーリー（物語）を  
イメージしよう

第2回では、第1回で想像した主人公になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用した場面をイメージしてもらい（ロールプレイング・ゲーム）、その時にどのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考えていただきます。



令和3年6月26日(土)  
9時30分～12時30分  
必要なレイアウトと  
使い方を考えよう

第3回では、第2回を踏まえて、みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考えます。



### 成果発表会

令和3年7月17日(土)  
午前中(予定)

この3回の意見交換会を通して、みんなが使いたくなる公園の未来像をつくり、その内容を成果発表会でグループ毎に発表していただく予定です。

### 開催概要（第1回）

日時：令和3年5月22日（土） 9時30分～12時30分  
テーマ：『どんな利用者がいるだろう？』  
ねらい：多様な公園利用者を想像する  
場所：大田区産業プラザPiO  
参加人数：32名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底
- ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・常時、部屋の換気



区のHPにも、  
ニュースレターを  
掲載しております。

裏面につづきます

## 実施概要（第1回）



### プログラム

- ・アイスブレイク（自己紹介）
- ・羽田空港跡地の歴史や立地特性など、現地の公園概要を区から説明
- ・**主人公（公園利用者）を想像し、意見交換**
- ・まとめの発表

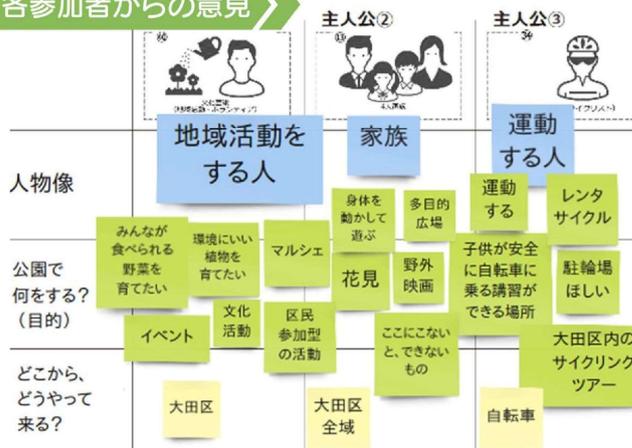


**ま**ず、多くの利用者が楽しめる公園を考えるために、各参加者は公園を使う「主人公」のイメージを深めていきました。どのような利用者があるのか、どのような目的でどこから来るのか、公園の利用時間帯（曜日・時間）や頻度はどのくらいかなど、使い手の気持ちになって想像してもらいました。

### 意見交換の様子



### 各参加者からの意見



**次**に、各参加者の意見をホワイトボードに列挙していきました。「家族で花を見に来る」、「イベントを楽しむ」、「子どもが自転車講習を受ける」など、多様な主人公があげられました。

※左図のように、パソコン上で意見を付箋に入力してホワイトボードに並べました。さらに、6部屋をオンラインでつなぐことで、全グループで意見を共有しました。

**最**後に、1グループにつき6人の主人公を設定し、グループ内で考えた主人公像について全体発表をしてもらいました。その様子をオンラインでつなぎ、全ての部屋の参加者が共有できました。様々な年代や職業の方が、1つのテーマについて率直かつ積極的に意見交換していただいたことで、相互の親睦も深まりつつあります。

### 発表の様子



## 次回予告

第2回意見交換会では、第1回に各グループで設定した6人の主人公について、ロールプレイング・ゲームを通じて、公園利用のイメージを膨らませていきます。

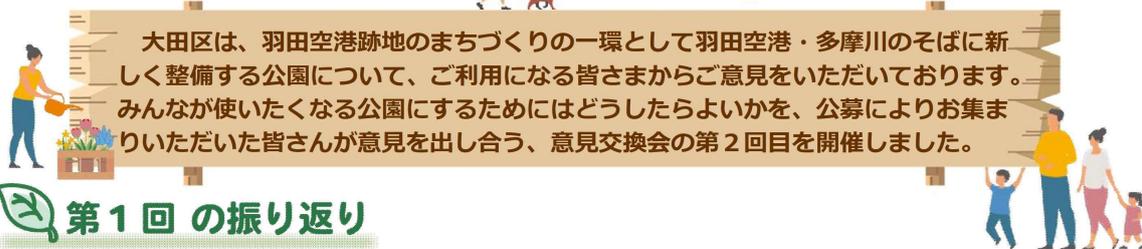


## 第2回 意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年6月26日

## グループで楽しみながら考える！ 羽田空港跡地の 公園づくり Let's co-design a park!

羽田空港跡地第1ゾーンの公園に関する意見交換会



### 第1回の振り返り

第1回では、多くの利用者が楽しめる公園を考えるために公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像して意見交換をしました。多くのアイデアの中から、第2回に向けて、各グループ6人の主人公を設定しました。

### 第2回 意見交換会のねらい

第1回で設定した主人公（公園利用者）になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用するシチュエーションをロールプレイング・ゲームによって体験的にイメージし、どのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考える。

### 開催概要

日時：令和3年6月12日（土） 9時30分～12時30分  
テーマ：『ストーリー（物語）をイメージしよう』  
ねらい：6人の主人公が集まった時にどのような公園利用となるか想像する  
場所：大田区産業プラザPiO  
参加人数：29名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底 ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・常時、部屋の換気



区のHPにも、  
ニュースレターを  
掲載しております。

### プログラム

- ・ウォームアップ（新しくできる公園で自分がしてみたいこと・理想的な公園）
- ・**第1回意見交換会の振り返り、6人の主人公と担当するプレイヤーの決定**
- ・**ロールプレイング・ゲーム**  
**6人の主人公（公園利用者）の深掘り**  
それぞれの主人公が公園でしてみたいことや、そのために欲しいものについて意見交換  
**主人公（公園利用者）が公園で出会ったときに何が起こるか**  
「良いこと」や「悪いこと（課題）」を想像し、意見交換
- ・まとめの発表
- ※ロールプレイング・ゲームでは、出席者が主人公になりきって、自分とは異なるキャラクターを演じてもらいました。

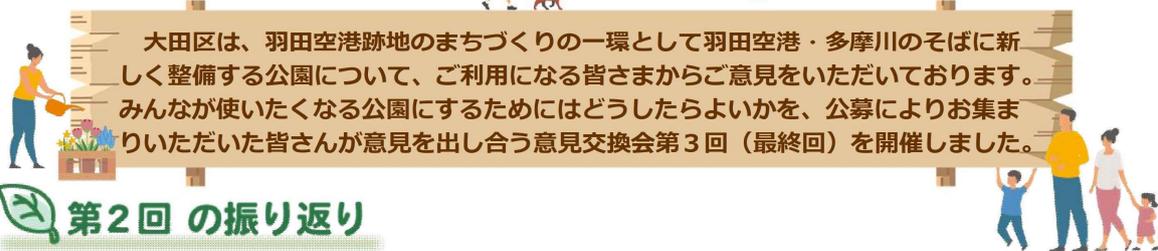


裏面につづきます



## 第3回 意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年7月12日



### 第2回 の振り返り

第1回で設定した主人公（公園利用者）になりきる、ロールプレイング・ゲームを実施。それぞれの主人公が同時に公園を利用するシチュエーションを体験的にイメージしました。人々が出会うことによる相乗効果や、ルールをつくり、守るための仕組みづくりなどの課題に気づきました。

### 第3回 意見交換会のねらい

第2回でまとめた「公園でしたいこと・そのために欲しいもの」、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、必要と思われる施設の具体的な配置案を作成し、みんなが楽しく利用できるようにするための使い方について考える。

### 開催概要

日時：令和3年6月26日（土） 9時30分～12時30分  
テーマ：『必要なレイアウトと使い方を考えよう』  
ねらい：みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考える  
場所：大田区産業プラザPiO  
参加人数：27名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底 ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・常時、部屋の換気



区のHPにも、  
ニュースレターを  
掲載しております。

### プログラム

- ・第2回意見交換会の振り返り
- ・**公園をつくってみよう！ ～6人が主人公になれる公園を考える～**  
6人の主人公が公園を利用するために必要なものをイメージしながら、白地図とスケールカードを使って、公園のレイアウトを考える
- ・**使い方を考えよう！ ～みんなが楽しく使うために～**  
みんなが同じ公園を使うことで起きる「良いこと」と「課題」をもとに、楽しく、満足できる使い方や仕組みを考える
- ・まとめの発表

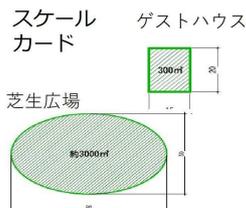
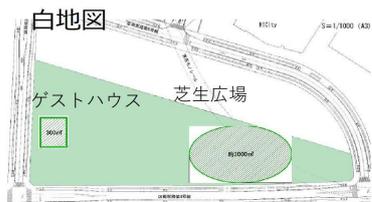


裏面につづきます

## 実施概要



**ま**ず、第2回で考えた「6人の主人公がしたいこと、欲しいもの」のなかから、各出席者がスケールカードを参考に、公園に必要な施設を白地図にレイアウトしました。「芝生広場」、「イベントステージ」、「展望ゲストハウス」など、思い思いに様々なものを置かなかで、2haという限られた公園面積にどのように収めるか試行錯誤しました。



※スケールカード：芝生広場などを公園白地図の縮尺に合わせて用意したもの。

**次**に、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、グループでレイアウトをまとめました。各々の思いをすり合わせることで、気づかなかった視点を発見し、全員が満足できる公園とするにはどうすればよいか、意見交換を重ねました。「海外渡航者と地域の人々が出会う空港近接ならではの交流スペースを設置」、「キッズ、球技等のスペースを離す」、「お互いが尊重し合って利用できる公園」など、実際の利用シーンをイメージした意見がまとめられました。



**更**に、レイアウトした公園を使いやすくするため、使い方の工夫や仕組みを考えました。



- 複数の使い方：普段はイベントやキャンプ、非常時は防災に使える広場や遊具、ベンチ
- 子どもも大人も楽しめる工夫：球技専用スペースは、日中は子ども、夜は大人が利用
- 利用者が関わる仕組み：利用者参加型の公園運営組織を設置し、多様な意見を取り入れる仕組みづくり

**最**後に、全員が一堂に会しました。グループごとに、思いを込めた公園名称やグループ名を披露し、レイアウトや施設の配置案、おすすめのポイント、使い方の提案などを発表しました。

いずれのグループも特色のある内容で、かつ発表にあたっては、複数メンバーで行うグループもあり、発表ごとに盛大な拍手が送られ、終始温かい雰囲気でした。



全3回の成果はグループごとにポスターとしてまとめ、**成果発表会（7月17日）**で発表します。

成果発表会

意見交換会



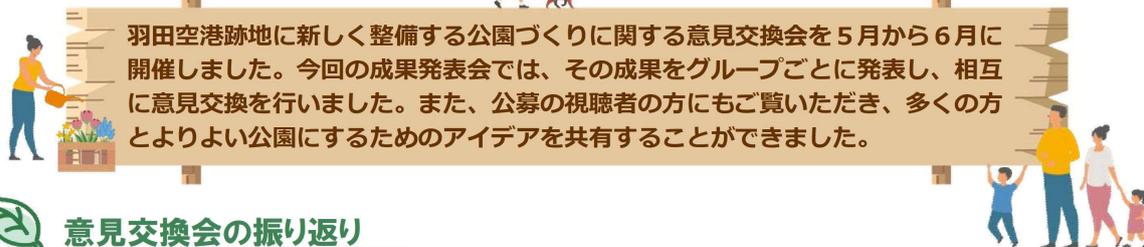
ニュースレター

グループで楽しみながら考える!

羽田空港跡地の公園づくり

Let's co-design a park!

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年12月6日



羽田空港跡地に新しく整備する公園づくりに関する意見交換会を5月から6月に開催しました。今回の成果発表会では、その成果をグループごとに発表し、相互に意見交換を行いました。また、公募の視聴者の方にもご覧いただき、多くの方とよりよい公園にするためのアイデアを共有することができました。



### 意見交換会の振り返り



第1回

公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像しました。



第2回

第1回で想像した主人公になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用した場面をイメージし（ロールプレイング・ゲーム）、その時にどのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考えました。



第3回

第2回を踏まえて、みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考えました。

### ～開始前の様子～



成果発表会開始前に、参加メンバーで入念に打ち合わせをしました！



### 開催概要

日時：令和3年11月21日（日）午前10時～11時40分

開催方法：オンラインにて実施（アプリケーションはZoomを使用）

参加人数：37名  
・意見交換会メンバー 13名  
・公募の視聴者の方 24名

※コメンテーター 工学院大学建築学部教授 遠藤新 氏



区のHPにも、ニュースレターを掲載しております。

### プログラム

- ・意見交換会に参加したご本人による発表（6グループ）
- ・参加メンバーと遠藤先生による意見交換
- ・遠藤先生から総評・アドバイス



※皆さんご自宅から参加されました。なお、Zoomの動作環境を安定させるため、視聴者の方には、画面をオフにご覧いただきました。



裏面につづきます



## 発表会のあらまし



**ま**ず、グループごとに成果の発表をしました。内容の一部をご紹介します。（順不同）

### 公園を利用する主人公

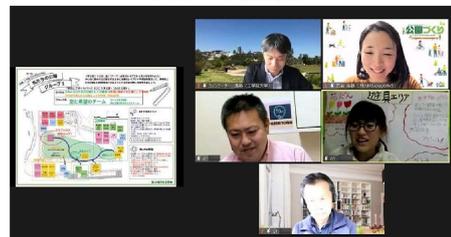
「子ども・家族連れ」、「スポーツをする人」、「ビジネスマン」、「国内外の旅行者」、  
「障害を持った人」、「イベントなど地域活動をする人」など多世代・多様な主人公

### 公園のおすすめポイント

- ・立地特性を活かし、飛行機や多摩川を眺められる展望台。
- ・遊具はバリアフリーで障害を持つ子どもも遊べる、防災遊具で非常時に備える工夫。
- ・スポーツや多摩川サイクリングロードを活用する人のためのスポーツステーション。
- ・国内外の人が自由に異文化交流ができるスペース。
- ・羽田の歴史や特徴をPRする仕掛け。



### ～グループ発表～



### 使い方の提案

- ・協議会を立ち上げ、利用者が関わって話し合いながら縛りすぎない、柔軟なルールづくりをしていく利用者参加型の運営。
- ・芝生広場をイベント時はステージとして活用、キャンプ広場は災害時に利用する等、一つの機能に限定せず、様々な用途で活用。

### ～意見交換の様子～



**次**に、参加メンバーと遠藤先生で意見交換をしました。

- 時間帯によって公園をシェアするアイデアとして、
- ・昼は近隣で働く人がリラックスできる場として利用。
  - ・夜はナイトマルシェを開催。24時間空港が近く、旅行者の利用も見込まれ、音楽イベント等も実施する など。

また、多様な人が譲り合いながら公園を柔軟に最大限活用する方法として、

- ・ボランティア（花植えや清掃等）として区民が活動し、公園のルールづくりなど、運営に関わるきっかけをつくる。
  - ・公園に関わる運営費については、キッチンカーの出店料や寄付、ネーミングライツを利用する等、民間事業者も巻き込んでいく。
  - ・公園運営で多様な人、団体が活動しやすくなるよう多くの人を巻き込んで、利用者同士が横でつながり、常にコミュニケーションができる仕組みを作っていく。
- などが意見として出ました。



**最**後に、遠藤先生から本公園をより良いものとするための3つのアドバイスをいただきました。

- ・24時間稼働する空港に隣接したこの場所ならではの色々な楽しみ方を模索し、可能性を広げる。
- ・公園の管理運営を持続可能なものにしていくよう、公園利用ルールと稼ぐアイデアを掘り下げる。
- ・運営の仕組みに行政の視点のみではなく、利用者・地域住民や民間の視点を加味する。

**視聴者の方からもご意見・ご質問をいただきました。今回の成果発表会でのご意見は公園の基本計画の基礎的な資料として活用します。皆さまお疲れ様でした！**





羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック

令和4年4月

大田区空港まちづくり本部

空港まちづくり課

